

# 法律学科

Department of Law

法律を土台として、自分で考える力を獲得するために  
幅広い教養やコミュニケーション力を合わせて修得する。

人権感覚や国際的素養を基礎に、社会問題を「自分の頭で」考える力こそ法律家に求められる重要な要素です。

法律科目に加えて、歴史や哲学などの幅広い教養やコミュニケーション能力、語学力などを修得し、

人と社会への理解を深めています。

問題が発生した理由と

その妥当性を検討する視点は

法学部の学びで身についたもの

## 学びの特色

### 法律科目だけでなく歴史や哲学など 幅広い教養を修得

憲法・民法・刑法などの法律科目に加えて、一般教養や語学力の修得、ディスカッションやプレゼンテーションで培われるコミュニケーション能力の向上などを重視。人と社会を理解し、紛争の解決だけでなく、ビジネスや公務など、幅広いフィールドで活ける力を身につけます。

### 「LAW & LAW」の教育 学部を3年で修了し法科大学院をめざす

学部を4年で修了し、その後法科大学院へと進学するのが一般的な法曹への道となります。2019年度より期間を短縮し、最短約6年間での法曹資格取得をめざす制度を開始しました。いち早く法曹の道へ進み、社会で経験を積み重ねることが可能となります。

## コース紹介

### 法曹コース

裁判官・検察官・弁護士などの法曹をめざす学生を主な対象としたコースです。憲法、民法、刑法など、「七法」と呼ばれる基本法律科目について深く学ぶことができます。

### 公共法務コース

公務員や各種機関の職員として公共政策に関わるための知識を中心に学びます。法律科目のほかに経済分野や政治分野の科目を通して、幅広い知識を培います。

### 企業コース

知的財産法や環境法などを含む先端法律科目や外国法など、ビジネスの世界で活用できる知識を中心として学びます。一般企業など幅広い分野で活躍できる人材をめざします。

## 活躍をめざすフィールド

- 金融／メーカー／マスコミ等の幅広い一般企業
- 企業の法務部門
- ロースクールを経て法曹へ(弁護士・検事など)
- 公務員

## PICK UP

法律実務家の体験を交えた講義や模擬裁判など、実践的な授業を展開

「法曹論」では、法律実務家の体験談を通じて、法律家の仕事の具体的イメージを高め、法律家が社会で果たす役割について理解を深めます。授業では、キャンパス内に模擬法廷を構築し、現職の法曹による模擬裁判を実施しています。



## STUDENT'S VOICE

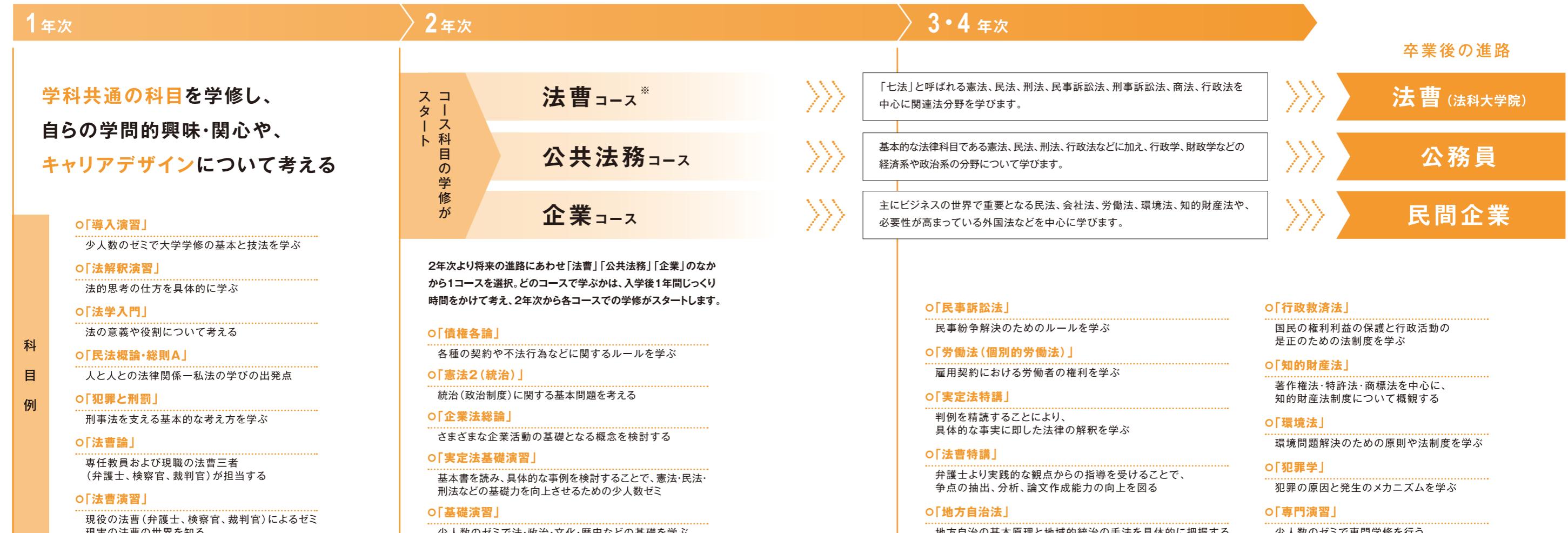
中央大学を選んだのは、浪人中に通っていた予備校に大学の職員の方が訪れ、伝統ある法学部の強みを説明してくださったのがきっかけです。その際、炎の塔の存在を知り、法曹への道筋が見えた気がしたので、司法試験にチャレンジしてみたいと思うようになりました。実際に合格を果たすことができたので、中大法学部の強みは本当だったと実感しています。今後は、司法修習を経て、法律実務家としての一歩を踏み出します。外国语を駆使してより多くの問題を解決できる実務家になるのが目標なので、留学も視野に入れつつ、研鑽に努めてまいります。

4年 市野 陽己 | 県立加治木高等学校(鹿児島県)出身

2022年司法試験合格

曲田 統  
Magata Osamu  
教授  
刑法学





### 社会の根底を成す法律や政治について 良い環境で学びたいと思い中央大学へ

法学部の学びを通して身についたのは、まず論理的な思考力、次に多角的な視点から物事を分析する力、そして柔軟な感性とコミュニケーション能力です。元来、私は物事の筋道を絶対視しがちでした。しかし、複雑に絡み合った利益や事情、歴史の上に微妙なバランスを取りながら展開される法制度や政策、統治システムについて学ぶにつれ、社会は決して理屈だけでなく人々の感情や関係者間の妥協、流行そして時には運などの要素にも支えられていることを知りました。この気づきは、これから社会に出て行く私自身にとって大きな発見だと感じています。

4年 重田 李玖 | 市立基町高等学校出身（広島県）出身

内定先 日本アイ・ビー・エム株式会社



### 一つずつ考え方言葉に落とし込むことが できるようになったと実感しています

会社法ゼミでは各回の担当者が判例研究を行い、ゼミ生全員で議論を交わします。会社法は時代のニーズに合わせて動向がある分野でもあり、それぞれの判例を自分の立場に置いて多方面から考察することで法的感性が養われます。また、自分と異なる考え方を知ることも大変有意義でした。就職活動は「人々の生活の根底を支えられること」「公的な仕事」の二つを軸に進め、希望を叶えることができました。本学科で培った論理的思考力や議論を咀嚼する力は、人と対話し、仕事をする上でも必要なもの。その力を大切に社会や人々の経済・生活基盤を支えていきたいです。

4年 馬場 菜々子 | 私立中央大学附属横浜高等学校（神奈川県）出身

内定先 日本銀行

